

# 千年の森便り No.225

2022.06.24

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹 編集 真鍋昌義

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

6月19日(日) 晴

5月の活動に続き、事前の天気予報では雨の確率が高かったんですが、会員のみなさんの日頃の行いが良いためか、日射しが注ぎ夏を思わせる良いお天気となりました。久しぶりのニホンジカ生息状況調査も予定どおり実施することができ、駐車場周辺の草刈りやナラ枯れ被害木の伐採も行うことができました。暑い中、ご参加いただいたみなさまお疲れさまでした。

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、大原、苅米、久我夫妻、坂本、清水、竹下、成沢、福島、村野の会員 13 名でした。

(福島)



### ○ニホンジカ生息状況調査

3か月に1回、年4回の調査を計画しているこの調査ですが、新型コロナやナラ枯れ被害木の伐採のため、2021年6月以来1年ぶりの調査となりました。

今回は、調査に初参加の竹下さんを加え、11人で7コースを分担して一斉に島内を踏査しシカのカウントを行いました。調査時間は、10:05から10:35です。

結果は、ホテイ岬方面の6コースを担当した坂本さんが、10:22にホテイ岬から湖に飛び込んで対岸へ泳ぐシカ1頭(角なし)を目撃しました。他のコースでは目撃はありませんでしたがフンや足跡が記録されました。目撃の状況は、坂本さんの記事をご覧ください。

調査に参加されたみなさんお疲れさまでした。(坂本)

### ○シカ目撃記録

シカ調査では6コースを担当しました。千年広場からホテイ岬方面へ下る西側のコースです。

岬の先端まで行ってもシカの気配は無く、東側の7コースを歩いている久我夫妻の姿が木の間越しに時々見えるだけでした。岬の先端まで行き着いて湖面を眺めていると、右方向で大きな水音がして岸から数メートルの所で白い飛沫が立ち上がっていました。崖からの落石はあり得ない場所なので、シカに違い無いと思って双眼鏡で覗くと首から上だけが見え、対岸に向かって泳いで行くところでした。



対岸に向かって泳ぐシカ

私が近くを通った時は藪に潜んでやり過ごし、頃合いを見計らって水面へジャンプして逃げ出したようです。ボートで釣りをしていた人も水音に気付いて「シカだー」と仲間に声をかけていました。

釣り人を避けてシカが目指している先は上陸できるか危ぶまれる急斜面の崖地でしたが、僅かな植生の樹間に消えて行きました。

数分間の出来事でしたが、カメラに望遠レンズをセットしていたので記録写真が撮れました。(坂本)

## ○タケノコ全滅？

ホテイ岬のホテイチク林では筍が若竹に成長している頃と思い探しましたが、先端を食い干切られて枯れかかったものが少しあるだけで、無事な物はさっぱり見当たりませんでした。保護ネットの中はどうなっているかと外から覗いても結果は同じでした。それもその筈、ネットの一部が破られて侵入穴が出来ていました。シカ調査のついでに見ただけで詳しく調べた訳ではありませんが、ほぼ全滅の様です。マダケも同様です。(坂本)



食害を受けたホテイチクのタケノコ

## ○植生保護柵の修理(千年広場)

千年広場近くの植生保護柵内に出てくるツチアケビの状況を確認しに行ったところ、柵の出入り口の部分のネットに大きな穴が開いていました。柵内を確認したところ、柵で保護されていたハナイカダやイヌツゲが激しい食害を受けており、シカがネットに穴を開けて侵入し好物の植物を食べてしまったようでした。これ以上の食害が起きないように穴の開いた部分を補修しましたが、シカもネットを食いちぎることを覚えてしまったようで、これから先が思いやられます。(福島)

## ○植生保護柵の修理(ホテイ岬)

ホテイ岬のホテイチク保護柵内にニホンジカが入り、まともなタケノコが見当たらなかったのが急遽、鶴沢さんと2人で保護柵の修理に当たりました。倒木の影響で曲がった支柱を真っすぐに起こし直し、ネットを所定の高さに戻して縛り直しました。併せて保護柵に接している枯れ木やマダケ、モウソウチクを予防伐採して、当面保護柵の機能は維持できる状態に戻しました。けっこう汗をかきましたが、保護柵内にはイチリンソウやオオバトンボソウなどが点在することに気づきました。会発足ときにビッシリと密生していたホテイチク林の姿を取り戻すまでにはまだまだ時間がかかりそうです。ここだけではなく古い保護柵の再設置を検討する時期にきていると感じましたが、具体的な設置方法や費用を考えるとそう簡単でもなさそうです。(伊藤)



保護柵補修中の鶴沢さん

## ○駐車場周辺の草刈り

前夜から降っていた雨も上がり、清々しい好天気にも恵まれました。午前中、鹿の調査が終わってから、多くの会員で、田圃上の車道脇に繁っている雑草を鎌で刈り取りました。また、草刈り機を持参したので、田圃横の土手にかなりの雑草が繁っていたので刈り取りました。何せ、土手は急斜面なので、足場を確保しながらの困難な作業でした。

午後は駐車場の草刈り。村野さん、則子と3名。村野さんは草刈り機の扱いが未経験なので、今回教わりながら技術を習得されました。今後の作業に期待しています。(久我)



練習中の村野さんと久我夫妻

## ○ナラ枯れ被害木伐採

ナラ枯れにより、昨年の秋頃に枯れたコナラを 12 本伐倒しました。作業者は、チェーンソー歴 60 年以上の苅米さん、新会員の竹下さん、成沢の 3 名です。

樹形のバランスを確認しながら伐倒方向を見極め、チルホールも使用しながら、かかり木にならないように工夫しながら作業しました。現場作業に慣れている竹下さんがテキパキ動いてくれて、作業が大変捗りました。今後、安全に気を配りながら、作業を進めていきます。

作業開始前、道具の準備作業中に広場近くでドスンという音が聞こえてきたため、音がした方を確認しに行くと、枯れたコナラが倒れていました。近くに誰もいない時でよかったですが、改めて枯れ木の危険性を感じました。(成沢)



伐採したナラ枯れ被害木



チルホールを扱う竹下さん



自然に倒れたコナラ



自然に倒れたコナラの根元

## ○6月の花模様



イワガラミ



テイカカズラ



ケイワタバコ

6月に楽しみにしていた花はイワガラミとケイワタバコです。イワガラミが絡みついているコナラがナラ枯れのため倒木の危機にあり、今見られるイワガラミも生存の危機にあるようです。何とかコナラが倒れないようにと願っています。テイカカズラも同じような状況だと思いますが保護指定されていないことからあまり問題ないようです。ケイワタバコは禁断の岬の崖に張り付いていて、株の状態は良好でした。ただ、花を見るにはちょっと早すぎたようです。大きな株にはどれも小さな蕾がついていました。開花は 1 週間後ぐらいでしょうか。花の写真は来年に持ち越しとなりました。



ヤマボウシ



オカトラノオ



ツチアケビ



オオバジャノヒゲ

ムラサキシキブとヤマボウシは今が盛りとあちこちで咲き乱れていました。コナラ伐採地のヤマボウシは実生

から2mほどの樹高となり、今年初めてだと思いますが1輪の白い花（正確には総苞片）をつけていました。コナラ伐採地の草本類で花が見られたのは白色のオカトラノオと黄色のブタナです。ヒメコマツ植栽地にはツチアケビが2株ありました。その他の場所では過去に生育していたが発芽しなかったり、発芽があっても黒く枯れたりしていました。元巨木林調査地の保護柵内にオオバジャンヒゲと思われる1株が可憐な白い花を咲かせていました。この花を見るのは初めてです。先月蕾だったイチヤクソウはすでに花が散っていました。吊橋の入口部には、アカメガシワがケーブルのすぐわきまで枝を伸ばし咲いていました。また、吊橋着岸点付近にあるウリカエデの二股になった枝の部分にシャクトリムシが橋を架けたように付いていました。



緑の苔の中にきのこ

ウスタケの仲間

コイヌノエフデ

ミネシメジですか？(坂本)

気に入ったキノコ3種を写真に撮りました。苔とキノコの写真は緑の苔とキノコの取り合わせが素敵に見えました。ラッパ状のウスタケの仲間とコイヌノエフデは、形状と色が独特でよく目に付きました。

前号でウツボグサとしたのはヤセウツボの誤りです。訂正いたします。（秋元）

## お知らせ

### 入会しました。よろしくお願ひします。

先月のハイキングに参加した際に、即日入会させていただきました竹下晃平です。会の活動は、「千年の森便り」で知りました。親しみやすそうな雰囲気のほか、プロフェッショナルな作業、アカデミックな調査など、多彩な活動内容とその専門性に魅力を感じました。また、活動の頻度もちよつと良く、仕事や家庭、他の趣味とも両立ができそうです。

今後の活動では、先輩方の知識や技術を吸収しつつ、希少な植物を愛で、野生動物や木の病虫害と上手に付き合いながら、豊英島がどのような森になっていくのか見届けていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。（市川市 竹下晃平）



チルホールを扱う竹下さん(成沢撮影)

### 〇次回活動日は7月18日(月祝)です。

光環境(相対照度)調査、ヒメコマツ植栽地下刈り、コナラ更新林下刈り、危険木伐採などを予定しています。暑さ対策をして、無理のない範囲でご参加をお願ひします。

島内はナラ枯れで枯死したコナラが多数あります。島に入る際は危険防止のためにヘルメットの着用をお願ひします。